

多文化共生を振り返る

排外主義を乗り越えた未来を構想するために

日時：**2016年2月21日 (日)**
14:30～17:30

場所：京都市地域・多文化交流ネットワークサロン
参加費無料・事前申込不要

報告者：

樋口直人氏 (徳島大学)、**明戸隆浩氏** (関東学院大学ほか)
鄭栄鎮氏 (NPO法人トッカビ)

コメンテーター：

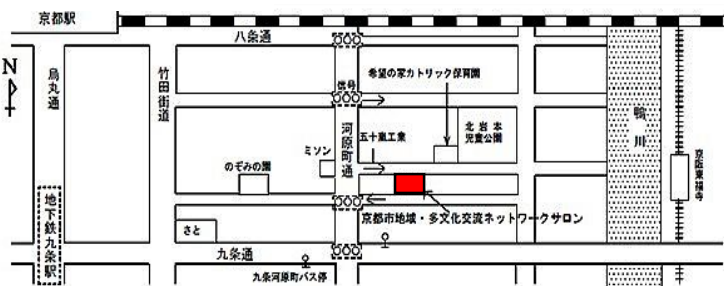
勝村誠氏 (立命館大学)

開催趣旨：

ここ20年の日本でのマイノリティに関する状況について、「多文化共生」から「ナショナリズム」・「排外主義」へ、というかたちで振り返ることが可能であろうか。90年代に掲げられていた「多文化共生」は、どのような理念であったのか。どのような仕方での理念の実現が目指されていたのか。

「多文化共生」という理念は、排外主義を乗り越えてともに生きていく社会を構想していくための理念たりうるか、あるいは別の仕方での新たな理念を彫琢する必要があるのかについて考える。

会場までのアクセス



*会場の近くに駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

*会場までは、JR京都駅・市営地下鉄京都駅八条口より、徒歩15分。市営地下鉄九条駅より、徒歩15分です。

主催：立命館大学生存学研究センター

共催：立命館大学人間科学研究所「インクルーシブ社会に向けた支援の

〈学＝実〉連環型研究（基礎研究チーム）」

お問い合わせ先：立命館大学生存学研究センター事務局

TEL: 075-465-8475 FAX: 075-465-8245 E-mail: ars-vive@st.ritsumeimei.ac.jp

本企画は文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「インクルーシブ社会に向けた支援の〈学＝実〉連環型研究」プロジェクトの一環としておこなわれるものです。

